

令和5年度 アーツ前橋事業評価調書

基本事項	事業名		あ一つひろば																							
	事業1 事業2 事業3 事業4 事業5 事業6	時期・日数	あ一つひろば（講師：カ石咲） 編んでほどこいて作ろう 2023年6月24日（土）、25日（日）		会場	交流スペース	人数	参加者：48名 サポーター：名																		
		時期・日数	事前サポーターミーティング 2023年6月10日（土）		会場	スタジオ	人数	サポーター：12名																		
		時期・日数	成果展示「セタの物語を編む」 2023年6月28日（水）～7月16日（日）		会場	交流スペース	人数																			
		時期・日数	パフォーマンス「セタの物語をほどく」 2023年7月16日		会場	交流スペース	人数																			
		時期・日数	あ一つひろば（講師：サポーター） 2024年3月16日		会場	交流スペース	人数	参加者：87名 サポーター16名																		
		時期・日数	-		会場	-	人数	-																		
	担当者		学芸：辻瑞生 事務：石井令奈																							
	目的・目標（総括表）		1.サポーターやアーティストによる多様な芸術体験を通して、アーツ前橋への来館促進を行い、将来の自主的な鑑賞者を育成する。 2.サポーターが企画・運営のノウハウを身につける。																							
	キーワード		アーツ前橋への第一歩、親子連れの来館、サポーター主体の活動																							
他団体との連携（共催、協力等）		サポーター																								
参加作家		<table><tr><td>カ石 咲</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							カ石 咲																	
カ石 咲																										
①投入（支出）・③結果（収入）	印刷物等		チラシ（A4）	ポスター																						
			300枚程度	0部	※インハウスE																					
	財務指標		収入（A） 別表から転載	支出（B） 別表から転載	収支比率（A）／（B）	一人当たりコスト	収入内訳																			
							参加費	助成金	他																	
	予算		-	544,960 円	-		-	-	-																	
	決算見込		-	422,714 円	-		-	-	-																	
	差額		-	-122,246 円	-		-	-	-																	
	予算／決算		-	77.6%	-	-	-	-	-																	
②内容・活動	〔②内容〕 事業の概要		事業の概要（転記）	サポーター等と協働しながらアーツ前橋に親しみ、多様な芸術に触れるワークショッププログラムを実施																						
	〔②活動〕 主な取組（手段）の結果 ・メディア等広報実績 ・新たな試み 関連イベント 助成 など		・広報戦略 ・新たな試み（転記）	・まちなかのイベントとの連携や季節イベントと連携し、広報活動を効果的に行う。 ・初めてインスタライブで発信した。																						
			広報実績 [新規掲載や効果が大きかった媒体など、特別な案件]	「あ一つひろば」の案内チラシを館内に設置するほか、こども図書館、児童文化センター、近隣店舗にて配布した。																						
	●指標 来館者反応 手ごたえ アンケート		新たな試みの実績	あ一つひろばの実施後に、制作作品を展示することはこれまでも行ってきたが、第1回のあ一つひろばでは、展示終了後、作家とサポーターが作品をほどくというパフォーマンスを伴いながら撤収した。ほどくパフォーマンスでは、その様子をインスタライブで発信した。																						
③結果	数値目標		指標1	目標	実施回数：3回		実績	あ一つひろば回数：2回、その他活動あり																		
			指標2	目標	参加者数：100人		実績	参加者数：人 147人																		
	進捗管理 [スケジュール観]		A.概ね円滑に進んだ B.遅延気味であった（内容： ）																							

令和5年度 アーツ前橋事業評価調書(2)

	事業名	あ一つひろば				
④ 成果	〔④成果〕 期待に対する結果 ・観覧者層のターゲット ・ねらい	観覧者層の ターゲット (転記)	ターゲット:アーツ前橋に来館したことの無い親子(隣接施設利用者等)			
		成果	第2回あ一つひろばでは87名の参加があり、コロナ前の状況に戻りつつあった。			
		ねらい1 (転記)	①初めて来館して造形活動や鑑賞を体験しながら、アーツ前橋は自己や他者の表現が認められる場所であることを理解する			
		成果	6月の「あ一つひろば」ではアーティスト、参加者同士、スタッフと交流を図りながら、楽しんで作品を制作しているようであった。制作した作品が展示されるのを確認に来た親子連れがいたり、撤収時のパフォーマンスには、はじめてパフォーマンスに関わるというサポーターもいた。			
		ねらい2 (転記)	②サポーターが企画や運営へ継続的に関わる。			
		成果	3月の「あ一つひろば」の企画「ウマくなくてもいいスタジオ」は、サポーターの自主的な活動を促す目的で行っており、サポーターが企画のアイデアを出したり、運営に関わっている。今回は点字絵本を使ったフロッタージュのコーナーを設けた。今後も継続していきたい。			
		ねらい3 (転記)	-			
		成果	-			
⑤ 波及効果	個別評価 ※記入日を()内に入れてください ※概ね1年経過毎に再確認して修正	<1～6は、記入項目の例・無い場合は削除。独自の評価項目の設定可。記入日を記載> 1. 参加作家のその後の活動を評価⇒後日記入 2. アーツの事業に対して、誰がどのような価値を見出したのかを評価 ⇒毎回「あ一つひろば」の開催を心待ちにしているという参加者の声も聞かれた。 3. 事業関係者(作家、運営、イベント参加者、地域住民)たちとの間で生まれた交流やその後の関係性の構築を評価⇒サポーターの自主企画「サポーターの美術」が継続的に開催されている。 4. 事業の実施に伴う波及効果⇒後日記入 5. 地域資源の活用という点での効果⇒後日記入 6. 意図せざる(思わぬ)効果⇒後日記入				
自己評価(担当者)	効率性 ①:③ 事業が効率的だったといえるか		1.非常に良い	2.良い	☐ 3.普通	4.劣る
	合目的性 ②:④ 事業の目的を達成したといえるか		1.非常に良い	2.良い	☐ 3.普通	4.劣る
	事業の将来性 ②:⑤ 館の事業に対し将来性があるか		1.非常に良い	☐ 2.良い	3.普通	4.劣る
	社会的将来性 ③:⑤ 社会への影響に将来性があるか		1.非常に良い	☐ 2.良い	3.普通	4.劣る
	課題・改善点		・コロナ以降、広報発送作業や資料整理などの活動が行われず、サポーター内の交流も少なくなっている。モチベーション維持のため、サポーターミーティングの定期的な開催や、あ一つひろばも年3回は実施したい。 ・一斉での新規募集を行っていないため、サポーター高齢化が進んでいる。新規募集するにあたって、サポーター制度について目的や意義を職員間で再確認したい			
引継ぎ事項 (特記事項)						
コメント・意見	館長 副館長	年間の周辺イベント日程等を考慮しサポーターの協力を得ながら来館者参加のワークショップを開催することができた。学芸体制を本来の体制に戻す中でアフターコロナ、サポーターの新規募集など課題を解決していく。				
	運営 評議会					